

取扱説明書

DPCM-18BK

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。この製品は家庭用です。飲み物以外に使用しないでください。また、業務用としてのご使用はしないでください。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあとでもいつでも見られるように大切に保存してください。

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- | | |
|--|---|
| <p>禁止 乾電池を傷つけたり、破損させたり、無理に変形させたり、加工したり（ショートなど）、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。
感電や発熱・火災の原因になります。</p> | <p>禁止 本体を水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。水洗いしない。水や油のかかりやすいところでは使用しない。
感電・ショートの原因になります。</p> |
| <p>禁止 湿度の高いところ、温度や気圧が低いところ、火気があるところ、直射日光があたるところで使用・保存はしない。故障や変形の原因になります。本製品だけでなく、乾電池にも悪影響があります。</p> | <p>禁止 本書に書かれている以外の分解はしない。また、修理技術者以外の人は修理しない。
感電・火災・けがの原因になります。修理は販売店またはお客様相談室（裏面参照）にご相談ください。</p> |
| <p>禁止 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用しない。
けが・やけど・感電の原因になります。</p> | <p>禁止 ぬれた手で、乾電池にふれない。出し入れしない。電源スイッチにふれない。
感電の原因になります。</p> |
| <p>禁止 本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。
感電・けがの原因になります。</p> | <p>指示 使用する前に毎回、本体に変形や亀裂、破損、劣化がないことを確認する。
確認しないと、熱湯による事故の原因になります。</p> |
| <p>禁止 異常時（こげ臭い、発煙など）は、使用を停止し、乾電池を抜く。
感電・火災の原因になります。</p> | <p>指示 乾電池から漏れた液が目に入ったときはこすらずに水で洗い流し、医師の治療を受ける。
失明や目に障害を負う恐れがあります。</p> |
| <p>禁止 本製品に強い衝撃を与えない。本製品を踏んだり投げたり落としたりしない。
故障・破損の原因になります。</p> | <p>指示 使用しないときは乾電池をはずす。
故障、液漏れの原因になります。</p> |

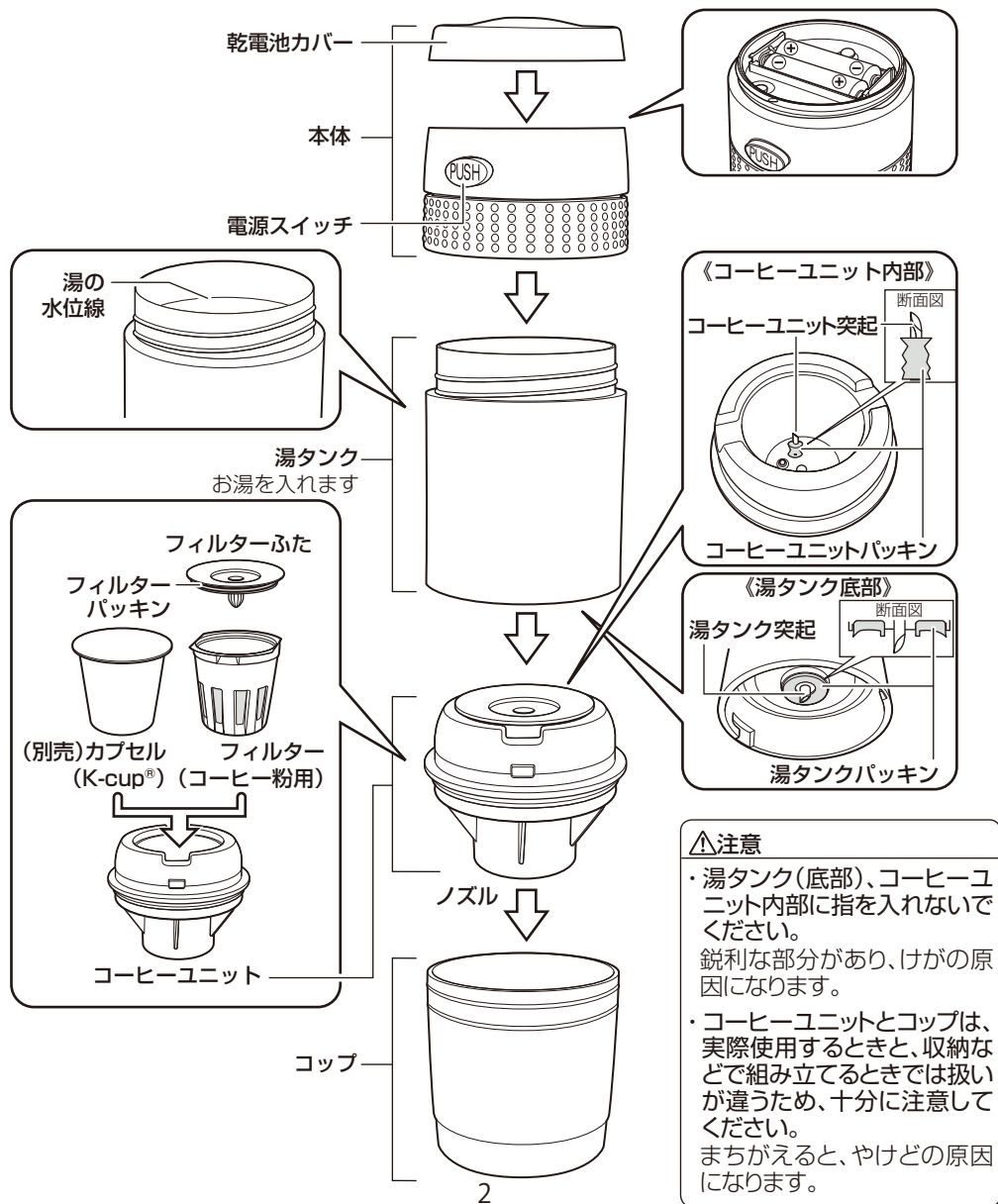
注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示します。

- | | |
|---|---|
| <p>禁止 変形や破損のあるときは、使用しない。
感電や火災、やけどの原因になります。</p> | <p>禁止 業務用として使用しない。
家庭用として設計されているため、業務用としては使用しない。他の目的や用途・場所などで使用しないでください。</p> |
| <p>禁止 お手入れのときは住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使用しない。
食器洗い機、食器乾燥機なども使用しない。
感電やショートの原因になります。</p> | <p>禁止 熱湯が入っているときに、本製品を投げたり、振り回したり、注ぎとき以外にはさかさまにしない。傾けたまま、顔を近づけて開けたりしない。
故障やけがをする原因になります。</p> |
| <p>禁止 テーブルの端などに置かない。
落下して故障やケガをする原因になります。</p> | <p>禁止 液体が入っている状態で持ち運ばない。
やけどや物的損害の原因になります。</p> |
| <p>禁止 本製品を冷凍庫・冷蔵庫に入れない。
故障の原因になります。</p> | <p>禁止 乾電池の種類や新旧の乾電池を混ぜて使用しない。
使用推奨期限を越えて使用しない。
故障や火災、液漏れの原因になります。</p> |
| <p>禁止 K-cup®・コーヒー粉以外を使用しない。
炭酸飲料、スープなど塩分を含んだ飲み物などに使用すると、故障の原因になります。</p> | <p>指示 乾電池の極性（⊕⊖）は正しく入れる。
故障、液漏れの原因になります。</p> |
| <p>禁止 電子レンジでの加熱はしない。
火花が飛び、乾電池もあるため非常に危険です。</p> | <p>指示 使用後は十分お手入れする。
お手入れしておかないと衛生的に健康に悪影響を及ぼす原因になります。</p> |

末永くご使用いただくために、必ずお守りください。

- ・ フィルターやカプセル (K-cup®) を取り付けただまま保存しないでください。
- ・ ご使用後は本体を取りはずし、本体以外を水やぬるま湯で薄めた食器用洗剤できれいに洗ってください。
- ・ 本体を水につけないでください。
- ・ 長期間ご使用にならないときは、きれいに洗って汚れを落とし、十分乾燥させ、高温多湿の場所をさけて保存してください。

各部名称とはたらき



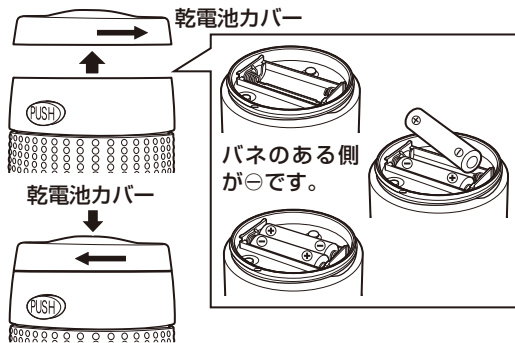
準備

乾電池の取り付け（交換）

1. 本体上面の乾電池カバーを回して取りはずします。
2. 単四形アルカリ乾電池2本を、底面に記載されている極性 \oplus \ominus を確認して取り付けてください。
バネのある側が \ominus です。
3. 取りはずしたときと逆の手順で乾電池カバーを取り付けてください。

△注意

- ・単四形アルカリ乾電池以外は使用しないでください。
- ・新旧の乾電池、銘柄や種類の異なる乾電池を混ぜて使用しないでください。



- ・極性 \oplus \ominus は正しく取り付けてください。
- ・使用しないときは、乾電池を取りはずしてください。

正しい使いかた 本製品はコーヒー粉とカプセル (K-cup®) 専用です。

コーヒー粉の場合（フィルターを準備）

1. フィルターにコーヒー粉を入れ①、フィルターふたを取り付けてください②。

△注意

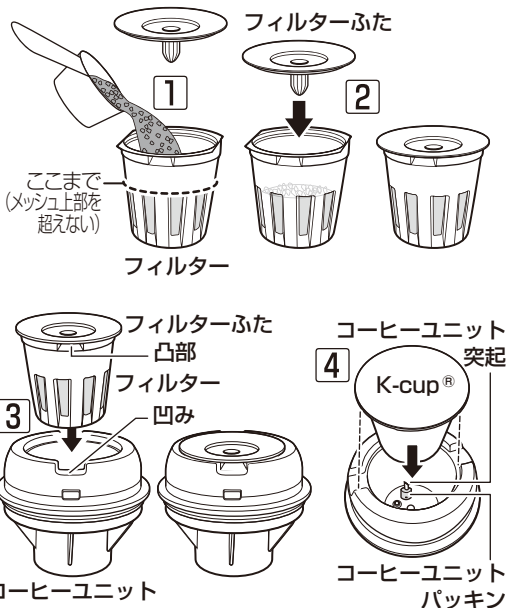
- ・粉の量は好みにより調節してください。フィルターのメッシュ上部を超えないようにしてください。
- ・使用するコーヒー粉の種類・量によって味は異なります。
- ・コーヒー粉以外のものを入れないでください。
- ・フィルターふたにあるフィルターパッキングが正しく取り付けられていることを確認してください。

2. フィルターをコーヒーユニットに取り付けてください③。

コーヒーユニットにある2つの凹みとフィルターの側面にある凸部を組み合わせるように取り付けてください。

△注意

- ・コーヒーユニット突起にコーヒーユニットパッキングが付いていることを確認してください。



カプセルの場合（K-cup® を準備）

1. カプセル (K-cup®) をコーヒーユニットに取り付けてください④。

コーヒーユニットに対して垂直に押し込んで、コーヒーユニット突起がカプセルを貫通する音がするのを確認してください。

- ・K-cup® 専用です。他のカプセルは使用しないでください。故障の原因になります。
- ※ K-cup® は Keurig Green Mountain, Inc. の商標または登録商標です。
- ・コーヒーユニット突起に、コーヒーユニットパッキングが付いていることを確認してください。



正しい使いかた (つづき)

共通

1. コーヒーユニットを湯タンクに取り付けてください⑤。

コーヒーユニットの突起部分と湯タンクの下の内側にある凹みを一致させて取り付けてください。

△注意

湯タンクの底部の湯タンク突起と湯タンクパッキンが付いていることを確認してください。

2. コーヒーユニット+湯タンクをコップの上ののせて、湯タンクに手をそえてお湯を注いでください。

△注意

- ・コップの上に“のせる”ようにしてください。コップは取り付けないでください。
- ・お湯を注ぐときは手にお湯がかからないよう注意してください。やけど、けがの原因になります。
- ・お湯を注ぐと、コーヒーがコーヒーユニット底部から垂れ出すことがありますので、ご注意ください。仕様であり、故障ではありません。
- ・水での抽出はできないので、ご注意ください。

3. 湯タンクの上に本体を取り付けてください。本体は回転させて取り付けてください。その際、やけどにご注意ください。

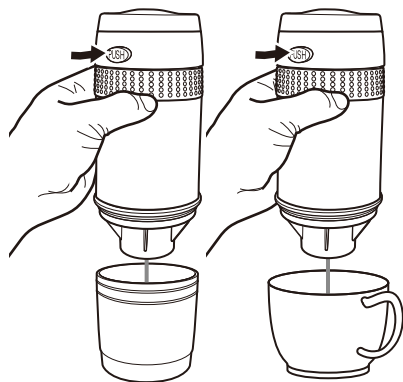
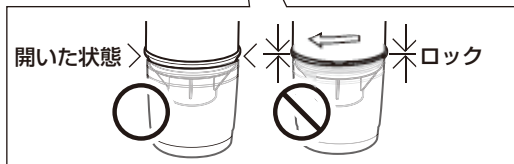
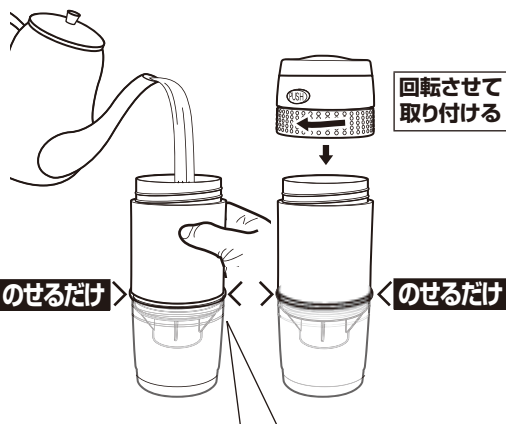
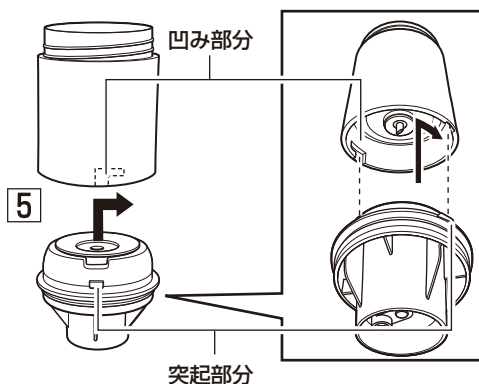
4. コップの上にあることを確認し、15~30秒蒸らしてから、本体を手を持って電源スイッチを押し、抽出してください。

コーヒーユニット底部からコーヒーが出なくなったら抽出完了です。他のコップの上でも抽出できます。

△注意

- ・倒れるとコーヒーがこぼれますので、注意してください。
- ・コップをコーヒーユニットに取り付けしないでください。コップを取り付けて抽出するとはずれにくくなり、コーヒーがこぼれてやけどの原因になることがあります。
- ・いきおいよく出ることがありますので、抽出が完全に終わるまで、コップに近づけて抽出してください。他のコップを使用する際は本製品のコップ以上の直径があり、耐熱性があるものをご使用ください。

《下からみた図》



5. 抽出後、コップを移動する際は電源を切り、コーヒーユニット底部から液体が抽出されていないことを確認してから移動してください。

6. 使用後は本体以外を、きれいに洗ってください。

十分に冷ましてから、本体以外をお手入れしてください。

本体以外の洗浄

1. 本体を回して取りはずします。

2. 本体以外の部分を、2ページのように分解し、鋭利な部分に注意して十分に水洗いしてください。

コーヒーユニット、湯タンクには鋭利な部分があります。

3. それぞれを十分に乾燥させたあと、再度元のように組み立てておいてください。

△注意

- ・本体は洗うことができません。湿らせた布で汚れをきれいに落としてください。
- ・フィルター・フィルターふたは目詰まりしないようにきれいに洗ってください。
- ・コーヒーユニット、湯タンクには鋭利な部分がありますので、指や手に十分ご注意ください。
- ・シンナー、ベンジン、たわし、磨き粉、クレンザー、塩素系漂白剤などは使用しないでください。
- ・本製品は煮沸しないでください。
- ・食器用洗浄機、食器用乾燥機は使用しないでください。
- ・本製品を水中に放置しないでください。
- ・突起やパッキンの紛失にご注意ください。

保存のしかた

本体以外を十分に洗って、乾燥させてから保存してください。

長期間保存のしかた

長期間ご使用にならないときは、必ず完全に乾いてから箱へ入れて湿気のないところへ保存してください。

※十分にお手入れをして乾燥させないと、サビやカビが発生します。

△注意

- ・使用しないときは、乾電池をはずしてください。故障・液漏れの原因になります。
- ・湿度の高いところ、温度や気圧の低いところ、火気のあるところ、直射日光が当たるところで使用・保存はしないでください。故障や変形の原因になります。

修理・サービスを依頼する前に

△警告 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
スイッチを押しても作動しない	乾電池が正しく取り付けられていない 乾電池の寿命	乾電池の極性⊕⊖など確認する(2~3ページ) 新しいアルカリ乾電池にかえる
音はするがコーヒーがでない	湯が湯タンクに入っていない	湯を湯タンクに入れる
	(カプセルの場合)湯タンクとコーヒーユニットの突起・パッキンが取り付けられていない	湯タンクとコーヒーユニットの突起・パッキンを取り付け、カプセルを貫通させる
	アルカリ乾電池を使用していない	新しいアルカリ乾電池にかえる
	乾電池残量が少ない	新旧の乾電池を混ぜて使用しない
コーヒーが出るスピードが遅い	乾電池の寿命	K-cup®を使用する
	K-cup®を使用していない	
	各部品が正しく取り付けられていない	一旦電源を止め、「正しい使いかた」に従い、再度取り付ける
湯やコーヒーが溢れ出してくる	乾電池残量が少ない	新しいアルカリ乾電池にかえる
	乾電池の寿命	新旧の乾電池を混ぜて使用しない
	(コーヒー粉の場合)コーヒー粉を詰めすぎている	一旦抽出をやめ、コーヒー粉の量を減らす
	(カプセルの場合)湯タンクとコーヒーユニットの突起・パッキンが取り付けられていない	湯タンクとコーヒーユニットの突起・パッキンを取り付け、カプセルを貫通させる
	湯タンクに入れた湯が多すぎる	湯の量を調節する
	コーヒーユニットとコップを取り付けている	コーヒーユニットとコップを取り付けずに抽出する

仕 様

型名	DPCM-18BK
電源	単四形アルカリ乾電池×2本(別売)
外形寸法	(約)φ76×H210 mm

・仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。